

# たんぽぽ だより

2004年1月・2月 NO14

日本共産党 川西市議会議員 **黒田みち**

市政にたいする要望・ご意見をお寄せください。

日本共産党川西市議員 黒田みち

みんなが  
**住んでよかつた**  
と思える川西市に……  
くらし・福祉・  
教育最優先の市政めざして

☎740-1111 (内線4020)  
FAX 759-1811



## 市長負担増ばかりの 川西市

年明け、兵庫県の  
行革案に意見書を  
出しています。ど  
こもここも根本は  
同じ、開発優先・  
市民いじめです。  
変えたいですね！

### 2004年の幕開け 皆様は どのように お迎えでしょう

#### か？

旧年中は大変お世話になりました。今年もご指導・ご支援よろしくお願ひ申しあげます。

イラクへの武器を持った軍隊としての自衛隊派兵が決まり、先遣隊の派兵が始まりました。

年金等の社会保障は負担ばかりが増やされどんどん不安が広がっています。

**どうして国民の願いとは うらはらの事がすごい勢いで進んで行くのでしょうか？**

黙っていても、今、されようとしている事を肯定していく事につながっていきます。

今年は申(猿)年、「見ざる・聞かざる・言わざる」ではなく、**真実をよく見て、聞いて、意見を申さなければ……**と感じていらっしゃる方が多いのではないのでしょうか？

財政が厳しいと私達庶民には負担ばかりを押しつけ、軍事費はアメリカにつく世界第2位。話題の道路公団はやっぱり赤字道路を建設するとか。消費税は財界の減税に使われ、ゼネコンがらみの大型開発に消えます。もう既に2808億円にのぼる政党助成金は使途不明でも問題になりません。



**今、私達は声をあげなければなりません。そうでないと、一部の強い意見に引きずられ、あたかも自分の思いのように錯覚させられ世界の大きな流れとは反対の方向に連れていかれてしまいます。**

私達は20世紀の反省のもと、本当の  
人権を考え、平和を貫いていくスタート  
にしていきたいませんか？

\*\*\*\*\*  
10月からはじまった校区審議会。  
今までのこの会は地域の様々な問題を解決する為に開催されて  
いましたが、今回は地域の問題を「校区自由化をすすめる」という  
問題にすり替えています。裏面に続く

**5%の自由校区枠が話し合われています！**  
校区審議会(次回は1/20(火)2/16(月)5時より)

25567筆の署名・142件の意見書  
1市3町(川西・猪名川・豊能・能勢)ゴミ処理施設建設

12月22日で川西市議会12月議会が終了。

下水道料金の4月からの値上げ(基本料金25%UP・水量料金22, 2~29, 6%UP)、敬老祝金の廃止、文化・芸術・スポーツ施設の使用料値上げ(0~54%UP)、留守家庭児童育成クラブの有料化(1ヶ月4500円)等々財政難を理由に「税の公平化」「適正化」という言葉でかたづけてしまいました。

でも、中央北地区の開発の手は緩めません(皮工場の全廃に65億円の補償費が話題)新しいごみ焼却場は当初予定の3倍の土地購入の予算を通しました(全く関係ない土地購入の話題も)やりたいと思う大型開発はどんどん借金をして突き進み、市民サービスは減らしていく。このやり方放っておきますか？

\*\*\*\*\*

私は丸山台3丁目、焼却場のすぐ近くに住んでいます。水蒸気が上がるのを毎日見ながら出勤します。風の様子で煙がたなびくのを目にします。新しく建設予定されている場所はここから約2kmしか離れていません。目の前の施設が見えなくなるだけで私たち住民の不安は消えるでしょうか？

環境変化の影響は万人に同じようには現れません。大気・飲み水への影響、鉛や銅・ヒ素などの土壌汚染の問題、文化財や動植物などを大きく壊す事が必要なのか、と様々な疑問が出されています。県に陳情に行った時は担当の課長さんが市の手順のあいまいさに驚かれ、環境影響評価審査会では委員さんから「基準値以下なら問題無し」としているのは古い考え方で、事業者の責任が足りない、と言われていました。灰熔融炉の事故や逆転層の問題など、専門家からも声がでています。

説明会でも交渉の場でも施設組合は明確な答弁はせず、「ご理解をお願いします」の一点張り。責任や誠実さ、市民の安全はどこにあるのでしょうか？

府県境の大阪側は砂防指定地域、50年の谷を埋め、炉の建設は大丈夫でしょうか？

私が一番不思議なのは、現地の方は反対されているのに、話し合いもされず予定地になっていること。どんな施設を建てるのかわからない時期に環境影響評価がされていること。

「兵庫県は400t以上の炉が環境影響評価の基準だから問題ない」という施設組合(大阪は100t以上の炉に必要)絶対安全・東洋一と言われた能勢・豊能で起きた事故を教訓にしない今の計画のまま、突き進んで大丈夫？もっと、住民に情報をわかるように説明すべきだと思いますがいかがでしょうか？

**ご存じですか？ゴミ焼却場**





# 主張

## ● 社会の道義的危機

明るい未来があるはずの子どものために、犯罪にかかわったり、犠牲になる出来事ほど、心が痛むものはありませぬ。

日本共産党は、十三日から開会する第二十三回大会の決議案で、「子どもたちにもっとも深刻なたちであらわれている、社会の道義的危機を克服するための国民的な対話をよくかけます。」

### 国民的な対論と合意で

子どもの危機の根底に政治や経済のゆがみがあるならば、だれもが感じているのではないだろうか。

たとえば、家族のだんらんを奪うような、リストラや雇用破壊、長時間労働、あるいは、国連から批判を受けるほどの「高度に競争的な教育制度」による子どものストレス

## 子どもの笑顔輝く新たな年に

「ス。あげればきりがないほどの、政治や経済のゆがみを正していくことが、健全なモラルを子どもたちにいくために必要です。」

同時に、「社会の道義的危機の克服には、社会の独自のとりくみが不可欠です。」

「民主的社會にふさわしい市民道徳の規準の確立」

「子どもを育てるための社会の自己規律を築く」

「子どもが自由に意見をのべ、社会参加する権利を保障する」

「子どもの成長を支えあう草の根からのとりくみを」

私たちは、国民のみなさんとの対

市民道徳が、「天皇のために命をささげること」を最高の道徳とした戦前の「教育勅語」のようなものから生まれたいことは明らかです。

私たちは、侵略戦争の反省からつくられた憲法や教育基本法が、市民道徳を形成する土台になることを考えます。

同時に、「市民道徳の規準は、政府や一政党が決めるものではありません。広範な国民的な対論と合意でつくっていくことを何よりも大切にしたいと思えます。」

見逃がせないのが、政府・自民党が、教育基本法改憲をねらって一月からの通常国会に法案を提出する動きを強めていること

「法の教育に生かすとりくみはいよいよ重要になっていきます。」

今年、日本政府が「子どもの権利条約」を批准してちょうど十年で、子どもの意見表明権や社会参加の権利を保障する、新しい流れが学校や地域などで起っています。

子どもの成長をささげあう、草の根の多様なとりくみを活発です。

私たちもその一員として力をつくすことも、とりくみの協力、共同をひろげます。

今年を、社会の道義的危機を克服し、子どもたちの笑顔が輝く日本社会をつくるための新たな一歩とするために、「こころしよ」ががんばります。

今も各個人の理由で校区外へ通っている子がいます。その子達以外に5%のこどもを隣接する小・中学校へ行かせるという計画です。(新1年生対象、兄弟姉妹は別枠、定員オーバーは抽選など)の内容の答申が3月末に出されようとしています。

北陵小学校・牧の台小学校は東谷小学校へ。

東谷小学校は多田東・緑台・陽明・清和台・北陵・牧の台小学校へ。

東谷中学校は多田・緑台・清和台中学校へ。

委員さんからは、こんな大切な話しが審議されると思っていなかった。半年で答申するのはあんまりだ。小学校区コミュニティを盛り上げていくという方向との兼ね合いはどうなる? 教育の原則を守っていくという事はどういうことか? 等意見が出され、「地域や現場に混乱が起きる」とはっきり反対の意見が出されているにも関わらず答申をだす方向です。

今、こどもの安全が叫ばれている中、公立学校の責任はどこへ行くのでしょうか? 市民に知らせず、たった半年で答申を出す事自体に怒りを感じます。こども達はわたしたち達の未来です。もっといろいろな意見を聞き、論議すべきではないでしょうか?

### 5%の自由校区枠が話し合われています!

#### 校区審議会(次回は1/20(火)2/16(月)5時より)

国民健康保険の審議会が開催中・もうすぐ、上水道料金の審議会が開催されます。全て傍聴できます。ぜひ、しっかり見て、聞いて、意見を言いましょ。 (私達の暮らしに関する事がどんどん決められてしまいます。声をかけて頂いたら知る限りの話しをしに伺います。790-3055 TEL&FAX 兼用)

## メディアをよびこめ

塚本 三夫

### 新聞はここまで来たか

**新** 年元日の新聞社説は、その年の各紙のいわば「決意」表明のようなものであると同時に、それ以降の社説と報道を方向付ける意味を持つている。ついに新聞はここまで来たか。今年の元旦付各紙社説を一読した私の率直な感想である。

主要各紙の社説「産経」は「主張」タイトルを挙げておこう。「軍隊」を欲する愚を戒む、節目の年明けに「朝日」「国民の安心が日本再生の基盤 重い決断を要する国家百年の計」「読売」は「日本の運命を決める一年 文明社会の重責を果たしたい」「産経」は「アメリカから」と落す訳にはいかない。西紙の主張は、もはや軍国主義論以外の何ものでもないところまでエスカレートしている。いわく、「危険があるからこそ自衛隊を派遣する」という決断は、戦後史を画する意義を有している。「新たな犠牲者が、」新たな犠牲者が

生じる可能性は否定できない。その時こそ、真に「日本」が試される」「読売」が試される」「読売」が試されるは死地に赴いても、任務を完遂し(中略)、真に強い国でありつづけている」と歴史に刻まれるような道に歩み出す年であってほしい

「朝日」の主張はあまりにも弱々しい。今年を軍国主義化への重大な節目と捉え、それをリードする新聞ジャーナリズム状況がいまだかつてない勢いを帯びてきていると感じざるを得ない。

(つ)かもと・みつお 中央大学教授

川西市で1859名の若者が成人式を迎えました。ひとりひとりが21世紀を担う主人公です。仕事・くらし・結婚・生き方・平和・・・夢や希望がかなう社会になるように全力でがんばります。希望ある時代の扉を開くために一緒に力を合わせましょう!

ひとひとの夢や希望が  
実現できるよう 心から応援します!



真実を伝える新聞「赤旗」お申し込みは  
黒田みちまで...